

2020年8月4日

各 位

会社名 太洋工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 細江美則
問合せ先
役職・氏名 テストシステム部長 小門孝彰
電 話 073-431-6311

全自動通電検査装置の開発に関するお知らせ

当社グループは、全自動通電検査装置「TY-CHECKER DS401AT」（以下、「DS401AT」という。）を開発し、テストシステム事業において通電検査システムの主力製品である「TY-CHECKER DSシリーズ」の拡充を行いますので、お知らせいたします。

スマートフォンや医療機器をはじめとする各種電子機器等に使用されるプリント配線板（フレキシブルプリント配線板、硬質基板等）は高密度化、微細化が進み、製造現場において高い検査品質と徹底した品質管理が要求されております。とりわけ通信業界では、5G移動通信網の本格運用の開始に伴い、情報端末や通信関連設備の5G対応が加速しており、高周波特性検査のニーズが高まっております。このような状況のもと、当社グループでは、5G対応基板に代表される高周波対応基板の高度な検査ニーズに応えるため、最上位機種「DS401AT」を開発し市場に投入してまいります。

「DS401AT」は、下記の機能を追加したことにより「5G対応基板の高周波特性検査」、「作業性の向上」、「検査タクトの短縮」及び「治具コストの低減」を実現しております。当該製品は、近々上市予定であり、当社グループ製品の通電検査システム「DSシリーズ」を既に導入されているお客様には、既存の通電検査用治具を活用いただけます。（一部特殊機除く。）

今後も基板製造現場が求める最先端の検査ニーズに応えるべくシステム開発に取り組んでまいります。

【全自動通電検査装置「TY-CHECKER DS401AT」】



「DS401AT」の代表的な特徴は以下のとおりであります。

1. IoTの普及に不可欠な「5G」対応に使用される高周波対応基板の検査が可能
2. 搬送プレートによる基板送り機構が従来の縦(Y)移動に加えて、横(X)移動が可能
3. 従来の搬送プレート保持方式に加えて、テンション保持方式が選択可能
4. 投入部ストック方法が串刺固定式から板ガイド+カメラアライメント方式に進化
5. 検査時の位置合わせ方式として、当社独自の学習式アライメント+治具内蔵型 CCD カメラアライメントに追加して、事前カメラアライメントも選択可
6. 被検査基板サイズ：100(W)×100(D)～305(W)×510(D)mm、個片基板にも対応

以 上